

●研究課題名:ドーピング物質としてのヒト組み換え型エリスロポエチン の高感度検出系の開発研究

●研究の概要:組み換え型EPO(r-EPO)は腎臓の悪い患者様の貧血の治療に用いるお薬です。一方、赤血球の増加効果を持つことから筋肉への酸素供給量を高め持久力を向上させる目的で、不正に医療目的以外、つまりドーピングに使用される事があります。世界ドーピング防止機構(WADA、World Anti-Doping Agency)は、r-EPOを禁止物質と定義しています。今回、尿・血液を用いた新たなr-EPO検出系を開発することで、正確でかつ迅速なドーピング検査が可能になり、結果的にr-EPO使用によるドーピングの防止にもつながると考えます。

●研究責任者:筑波大学医学医療系臨床学域スポーツ医学教授 竹越一博
〒305-8575 つくば市 天王台 1-1-1

TEL/ FAX 029-853-3389 E-mail: k-takemd@md.tsukuba.ac.jp

●採血時期:筑波大学における「臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクト(医の倫理委員会通知第593号)」において決められておりますように、附属病院入院時に同意を得られた患者様の入院時血液・尿検体を用います。

●研究の内容:本プロジェクトとして組み換え型EPO(r-EPO)の研究を行います。ただし、本研究の過程でr-EPOの値の異常が判明しても患者様には報告いたしませんので御了承ください。

●なお、当該解析計画は筑波大学人間総合科学研究科「医の倫理委員会」で審査され、筑波大学医学医療系長によって承認されたものです(通知923号)。